

国際経済関係・経済政策史

池尾 愛子 教授

1) 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

私の専門は、近代経済学史です。現在、技術進歩や技術移転の問題に光をあてながら、東アジアの国際経済政策史、国際金融史、経済発展史、貿易問題を研究しています。東アジアでは日本が最初に近代化(現代化)に成功し、韓国、台湾、香港、シンガポールと続き、さらに、中国、タイ、インドネシア、ベトナムも経済成長しています。どうすれば技術革新を起し続けられるかがカギになるでしょう。東アジア諸国に共通する経済思想や政策、また西洋諸国と共有できる経済思想や政策を含めて研究しています。

これまで発表した研究書や教科書は次の通りです。*A History of Economic Science in Japan: Internationalization of Economics in the Twentieth Century* (Routledge, 2014年)、『グローバリゼーションがわかる』(創成社、2017年)、『日本の経済学:20世紀における経済学の国際化』(名古屋大学出版会、2004年)、『20世紀の経済学者ネットワーク』(有斐閣、1994年)、『赤松要』(日本経済評論社、2008年)、編著『日本の経済学と経済学者』(日本経済評論社、1999年)、英語版 *Japanese Economics and Economists since 1945* (Routledge, 2000年)、共編著 *A History of Economic Theory* (Routledge, 2009年)、編集 *Economic Development in Twentieth Century East Asia* (Routledge, 1997年)などです。Routledge から出た本は4冊ともペーパーバックが出ています。また、2019年9月には北京大学の歴史学部と大学院で集中講義「戦後日本の経済学と経済史」を実施し、国際的研究交流の重要性を強調して成功を収めました。

2) 指導方針

私の研究指導の希望者には、標準的な経済学を勉強したうえで、自分の研究テーマを選んでほしいと思っています。近代経済学史、国際経済機関の歴史、日本の国際経済関係史、日本や日本が関係するテーマについての研究を歓迎します。

3) 学生に対する要望・その他

留学経験のない方の場合、英語での専門授業や語学の集中コースを受講することを要望します。留学生も大丈夫です。